

山下（智）議員（自民議連）

平成 29 年 2 月 27 日

知事答弁実録

（健康福祉局）

（商工労働局）

（教育委員会）

（問）ネウボラへの父親の参加促進と働き方改革等について

ネウボラの仕組みに父親をしっかりと取り込み、夫婦で相談できる体制づくりや機運醸成が必要と考えるが、どのように取り組むのか。社会全体での子育てを実現するため、父親・母親の労働時間の短縮、柔軟な勤務の普及、休暇の充実など、制度的な充実はもとより、企業を含めた働き方改革の推進にどのように取り組むのか。また、乳幼児にとって家庭は重要な「場」であり、家庭教育は、心身の調和のとれた発達など、健やかな成長に大きな役割を担っていることから、「遊び 学び 育つ ひろしまっ子！」推進プランの趣旨を踏まえつつ、各家庭における乳幼児教育について、ネウボラが、その導入・推進の中心的役割を果たすべきであると考えが、どのように認識しているか。併せて知事に伺う。

（答）

「ひろしま版ネウボラ」は、妊娠期の早い段階から保護者との継続的なつながりを持つことで信頼関係を作り、子育てに関する様々な悩みや相談にワンストップで対応できる体制を構築していくこととしております。

また、子供の健やかな成長や発達の支援を行うためには、母子の状態を把握するだけでなく、父親にも積極的にネウボラでの面談に参加いただき、父親の子育てへの関わりや、夫婦の関係も含め、家族全体の状況を把握することが重要であると認識しております。

このため、来年度から 3 市町で実施いたしますモデル事業におきましては、ネウボラにおける面接相談や各種イベント等に、父親を積極的に取り込むための有効な方策や、父親の育児参加の機運を醸成するためのネウボラからの発信手段につきましても検証してまいりたいと考えております。

また、父親・母親がともに子育てを担っていくためには、働く場における長時間労働の削減や休暇取得の促進など働き方改革が不可欠であると考えております。

働き方改革につきましては、それぞれの企業等において、その業種や規模、課題等に応じ、主体的に進められることが重要であり、県内の優良事例を創

出・見える化して波及させるとともに、イクボスの普及拡大による経営者の理解促進など、各企業の取組を後押ししてまいります。

次に、家庭における乳幼児教育について、ネウボラの果たす役割でございますが、今年度策定いたしました「遊び 学び 育つひろしまっ子！」

推進プランでは、家庭教育の支援といたしまして、全ての保護者に対する子育てに役立つ情報や学習機会の提供、地域による親子支援に取り組むこととしております。

このプランを着実に進めていくためには、家庭に対し、いかに情報を伝え、適切な支援に結び付けていくかが重要であることから多くの保護者が利用することとなる、そのようにしてまいりたいと思っております。「ひろしま版ネウボラ」の果たす役割は大変重要であると認識しております。

このため、「ひろしま版ネウボラ」を拠点といたしまして、家庭教育支援チームなどによる親子支援などの取組と連携し、この推進プランに沿った保護者への適切な助言や情報提供が行える体制づくりに、努めてまいりたいと考えております。

こうした取組によりまして、父親の育児への参画を促進し、夫婦が協力して子育てにかかわることができる環境整備や機運醸成を行いますとともに、乳幼児期における家庭教育の充実を図り、全ての子供が健やかに夢を育むことのできる広島県の実現に取り組んでまいりたいと考えております。